

技能士会の活動方針・アクションプランについて

技能士会を取り巻く内外環境の変化を踏まえ、ミッション・ヴィジョンに照らして考えますと、

短期的には、2019 年 4 月設立予定の ACCN 設立準備活動への積極的な参画・関与を通じて、ACCN において期待される技能士会の組織としての役割・機能を明確化する。

中期的には、技能士会会員および国家資格キャリアコンサルタント会員の資質の向上・倫理遵守の徹底、社会的認知度向上に向けた技能士会ならではの施策を構築・展開することによって、将来の発展に向けた新たな事業化に取り組む。加えて、活動全般において、透明で開かれた職能団体として情報開示に徹する。

上記を今期の活動方針として掲げたいと考えます。

<今期活動方針に基づく実行計画（アクションプラン）案>

① 定期的なモニタリング調査の実施による会員ニーズの把握とニーズに応じた施策の推進

全国幹事会として、今後の具体的活動の検討・決定・実行に取り組んでいくために、定期的なモニタリング（アンケート調査）を実施する。

なお、実施主体として、「会員活動拡充推進委員会」が実行・推進する。

② 関係諸団体との連携強化に基づく相互信頼関係の構築

協議会との協働体制の下、キャリアコンサルティングネットワークに係る関係諸団体との連携を強化し、相互に共存共栄できる体制づくりに取り組む。（また同時に、ACCN の設立に向けて、準備段階から積極的に参画し、設立後に技能士会が ACCN の組織全体を牽引する役割・機能を担う体制の構築と実行・推進に取り組む。）

なお、実施主体として、「連携活動推進委員会」が実行・推進する。

※（ ）内は ACCN がオープン化されてから盛り込む。

③ 技能士会専任トレーナー（講師）の養成による全国共通研修・事例指導の実行・推進

全国の技能士、国家資格キャリアコンサルタントの資質向上を目的として、全国レベルの共通研修を担当する技能士会専任トレーナー（講師）を、1 級技能士を中心に養成し、全国での研修トレーナー活動を推進する。また、研修に加えて、全国各支部での事例指導の展開も推進していく。

実施主体として、「全国共通研修開発委員会」、「事例指導普及・推進委員会」、「倫理委員会」が実行・推進する。

④ 全国支部長を交えた拡大全国幹事会の開催による情報共有・協働体制の確立

全国幹事会と全国各支部との連携強化を図るために、全国支部長を交えた拡大全国幹事会（仮称）を定期開催し、相互の情報共有、ガバナンスのあり方の共有、全国レベルでの共通研修会と、地域ごとの特徴（地域文化・地域特性等）を活かした支部研修会との適正な役割分担の共有化を推進し、全国レベルでのキャリアコンサルティングの普及、技能士の資質向上、倫理遵守の徹底を図る。

以上